

平成31年第7回公安委員会会議録

日 時	3月7日（木曜日） 自午後1時30分 至午後4時50分		場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	高木委員長 原委員 山本委員 小野委員 下山委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 定例会議

1 「女性活躍と次世代育成支援のためのアクションプラン（前期）」の推進状況(平成30年度)について

(1) アクションプランの概要

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）及び「次世代育成支援対策推進法」（平成26年法律第28号）に基づき、女性の職業生活における活躍と次世代育成支援のための対策を迅速かつ重点的に推進し、豊かで活力ある社会と次代の社会を担う子供が健やかに生まれ、かつ、育成される社会を実現するための行動計画として、「女性活躍と次世代育成支援のためのアクションプラン」を策定し、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間取り組むこととしている。

同プランは、

- 積極的な女性の採用・登用
- 女性が活躍するための職場づくり
- 育児や介護をしながら活躍できる職場の整備
- 働き方の改革

の4つの推進項目と16の推進施策で構成されており、数値目標として

- 2021年（平成33年）4月1日までに全警察官に占める女性警察官の割合を9%へ引き上げ
- 2020年（平成32年）中の職員一人当たりの年次有給休暇平均取得日数15日以上、夏季休暇平均取得日数5日を設定している。

(2) 数値目標の進捗状況

ア 全警察官に占める女性警察官の割合

H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1 (予定)	評 価 (前年度比)
7.21%(224人)	7.85%(244人)	8.53%(265人)	+0.68ポイント

イ 職員一人当たりの年次有給休暇・夏季休暇の平均取得日数

年 区分	H28	H29	H30	評価(前年比)
年次有給休暇	9.9日	11.1日	11.7日	+0.6日 
夏季休暇	4.74日	4.78日	4.88日	+0.1日 

(3) 各種施策の取組状況

ア 積極的な女性の採用・登用

- (ア) 女性警察官の増員
- (イ) 効果的な採用募集活動の実施

イ 女性が活躍するための職場づくり

- (ア) 女性職員のキャリア形成支援
- (イ) 女性職員が働きやすい施設及び装備資機材の整備
- (ウ) 女性職員の不安や悩み等に対処するための取組の推進
- (エ) 女性の意見を反映した施策の推進
- (オ) 職員の意識改革の推進

ウ 育児や介護をしながら活躍できる職場環境の整備

- (ア) 両立支援のための取組
- (イ) 男性職員の家庭生活への関わりの促進
- (ウ) 妊娠・出産から職場復帰までの各段階における支援

エ 働き方の改革

- (ア) ワークライフバランスの推進
- (イ) 業務の合理化・効率化の推進
- (ウ) 休暇の取得促進及び超過勤務の縮減
- (エ) 多様な働き方の推進

(4) 今後の方針等

ア 2023年(平成35年)4月1日までに、女性警察官の割合を10%へ引き上げ

イ 平成30年度の取組結果を、県警察ホームページで公表

**【委員からの質問等】**

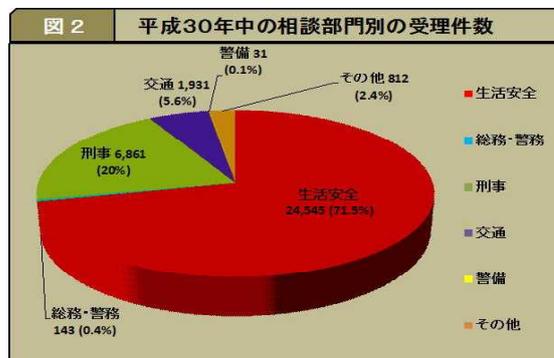
委員から「2021年には女性警察官の割合が9パーセントになるようであるが、警察学校でのインターンシップや花畑広場で開催したポリスフェスティバルといった広報活動は効果的だと思う。こうした取組により、女性警察官採用試験を受験する人は増加しているのか」旨の発言があり、警察から「増加している」旨の説明があった。

併せて委員から「非常に良いことだと思うので、是非、女性の登用にも積極的に力を注いでもらいたい」旨の発言があった。

## 2 平成30年中の警察安全相談対応状況について

警察安全相談は、住民からの来所、電話等による相談に対して、必要な指導助言、防犯対策及び警告・検挙の措置等を講じることにより、犯罪等による被害の未然防止活動を行い、市民生活の安全と平穏を確保する活動である。

### (1) 相談受理件数の推移と平成30年中の相談部門受理件数の状況



- 平成30年の相談受理件数は34,323件（前年比1,484件増加）
- 過去5年間年々増加傾向にあり、平成29年から3万件の大台を突破
- 生活安全部門の相談が71.5%を占めている

### (2) 主な相談項目の件数と推移

- 平成30年中の項目別件数で多いのは、刑事部門の「刑事事件」の相談（5,266件）、生活安全部門の「家庭・職場・近隣関係」の相談（4,937件）
- 平成30年中最も増加した相談は「サイバー関係」の相談（813件増加）
- DV・ストーカー等の人身安全関連事案の相談を受理した際には、生活安全企画課人身安全関連事案対策室等に速報し、連携して対応

#### 【委員からの質問等】

委員から「相談受理件数が増加しているが、これは警察に安心して相談できる環境が整っているからだと思う。相談を受けるといのは大変だと思うが、事件の未然防止に繋がっていると思うので、引き続きよろしくお願ひしたい」旨の発言があった。

## 3 平成30年中のサイバー犯罪の情勢について

### (1) 検挙状況

サイバー犯罪検挙件数209件（前年比+7件、+3.5%）

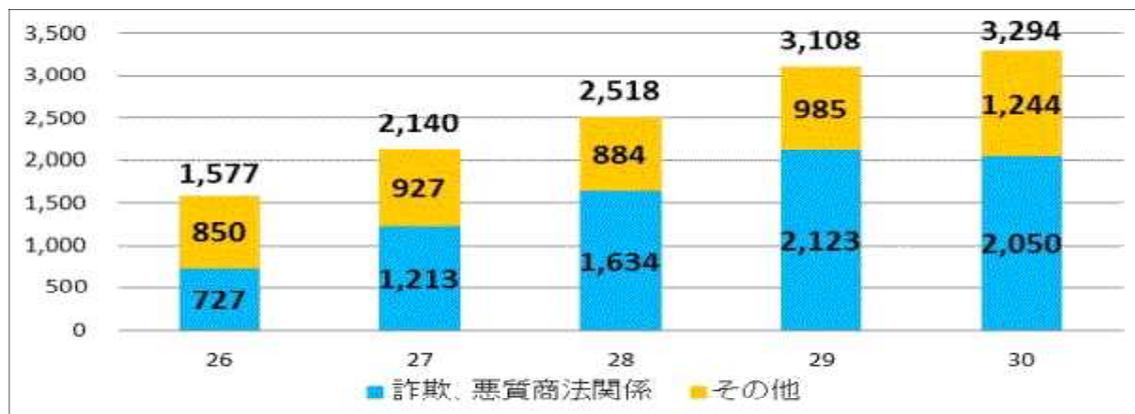
《サイバー犯罪検挙件数の推移》



## (2) 相談受理状況

サイバー関係相談件数 3, 294 件（前年比 + 186 件、+ 6. 0 %）

《サイバー関係相談件数の推移》



## (3) 平成30年中の主な取組

- ア サイバーセキュリティ戦略の改定
  - ・ サイバー空間の脅威への対応強化
  - ・ 警察における組織基盤の更なる強化
  - ・ 産学官連携の推進

イ CTF 競技会の開催

ウ 解析用ネットワークシステムの強化（回線速度の高速化）

## (4) 今後の取組

ア サイバーエリート（サイバー犯罪指定捜査員、サイバー犯罪捜査員）の計画的な育成

イ サイバー犯罪捜査における適切な部門間の分担及び連携の推進

ウ 産学官連携による違法有害情報対策、広報啓発活動等の推進

### 【委員からの質問等】

委員から「組織基盤の更なる強化という説明を受けたが、具体的にはどのようなことか」旨の発言があり、警察から「職員の専門性を高めたり、資機材の充実を図っていく」旨の説明があった。

## 4 平成30年中の飲酒運転実態調査結果について

### (1) 飲酒運転検挙件数・逮捕件数

区分	検挙件数	逮捕件数
平成30年中	583件	78件
平成29年中	579件	89件
増減	+4件	-11件

(2) 飲酒運転周辺者三罪の検挙件数

区 分	車両提供罪	酒類提供罪	同乗罪
平成30年中	3件	1件	7件
平成29年中	3件	0件	10件
増 減	±0件	+1件	-3件

(3) 飲酒事故件数

区 分	飲酒事故件数	うち死者数
平成30年中	54件	4人
平成29年中	53件	6人
増 減	+1件	-2人

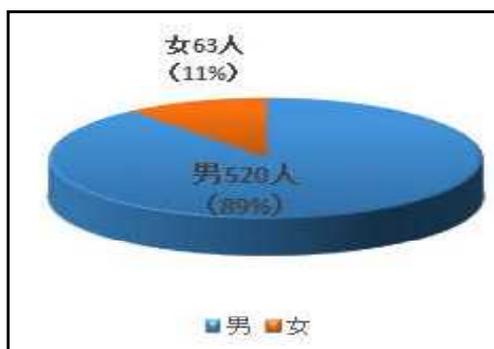
(4) 特異事故

平成30年5月11日、熊本市西区の市道で、酒気帯び運転の普通貨物自動車、女子高生運転の自転車に追突し、死亡させたもの

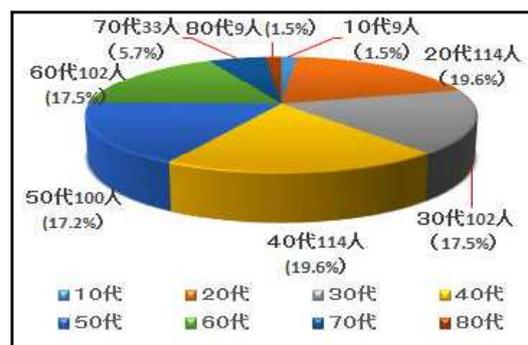
(5) 実態調査結果

対象者数：583人

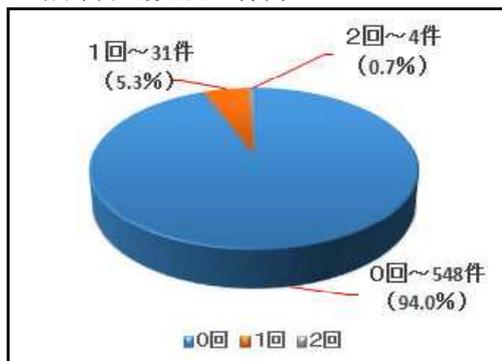
ア 男女別（人）



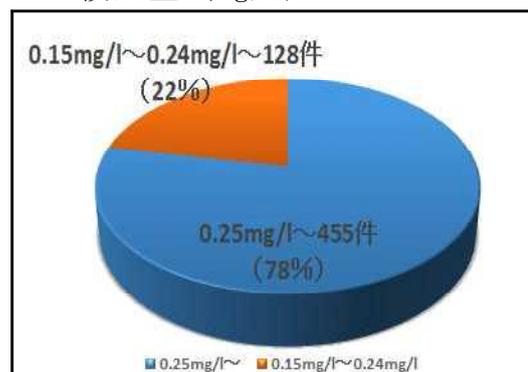
イ 年齢別（人）



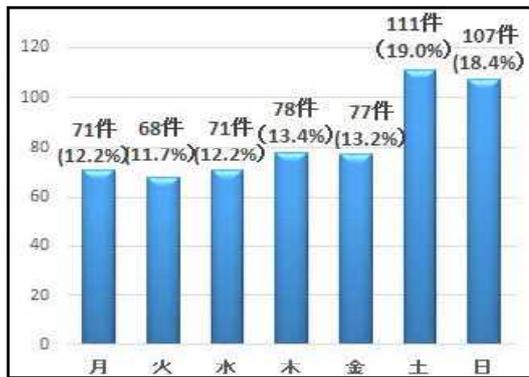
ウ 前科回数別（件）



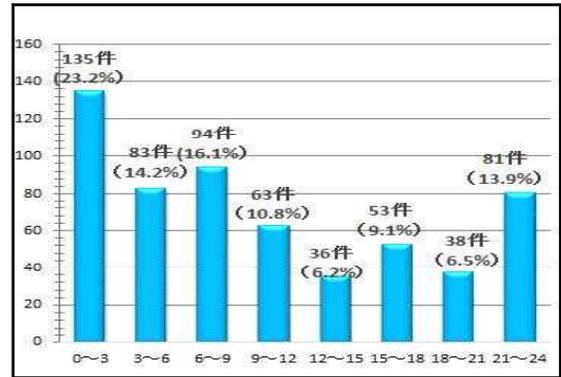
エ 検知量（mg/l）



オ 曜日別 (件)



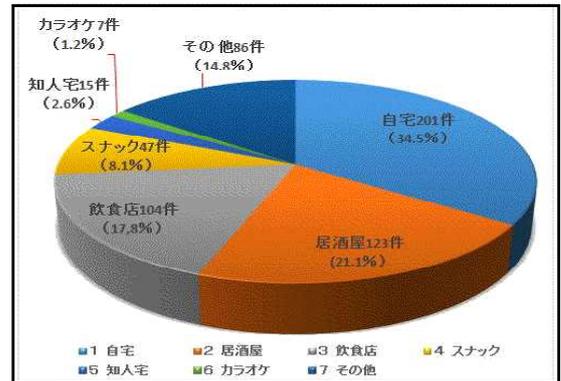
カ 時間帯別 (件)



キ 路線別 (件)



ク 飲酒先別 (件)



## 第2 報告・決裁等

### 1 人事異動関係報告

警務部長から報告が行われた。

### 2 熊本県道路交通規則の一部改正の決裁

交通規制課長から説明があり、決裁が行われた。

### 3 少年指導委員委嘱の決裁

少年課少年補導官から説明があり、決裁が行われた。

### 4 地域交通安全活動推進委員委嘱の決裁

交通企画課長から説明があり、決裁が行われた。

### 5 審査請求 (H30 No. 8) に係る熊本県個人情報保護審査会への諮問伺いの決裁

広報県民課文書情報室長から説明があり、決裁が行われた。

### 6 審査請求 (H30 No. 9) に係る熊本県個人情報保護審査会への諮問伺いの決裁

広報県民課文書情報室長から説明があり、決裁が行われた。

### 7 放置違反金の未収金にかかる不納付欠損の実施についての報告

交通指導課長から報告が行われた。

### 8 平成31年第6回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。